

2020年11月20日
国立大学法人千葉大学
イオン株式会社
イオンタウン株式会社

イオンタウンふじみ野を題材とした 「暮らしているだけで健康的になれる空間・地域の実現」に向けた 共同研究を開始します

国立大学法人千葉大学（大学本部：千葉市稲毛区、学長：徳久 剛史）とイオン株式会社（本社：千葉県千葉市、取締役兼代表執行役社長：吉田 昭夫）、イオンタウン株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：加藤 久誠）の3社は、2020年11月21日に開店するイオンタウンふじみ野（埼玉県ふじみ野市、以下：当SC）を題材として共同研究を開始します。

2018年より千葉大学とイオン株式会社は、関係事業者とともに、OPERA（※1）採択事業「ゼロ次予防戦略によるWell Active Community (WACo) のデザイン・評価技術の創出と社会実装」として、暮らしているだけで健康・活動的になれるコミュニティをハード・ソフト両面から提案するプロジェクト（※2）をスタートしています。

その一環として、当SCの開店に合わせ、商業施設と地域住民の行動・健康に関する共同研究（以下：本研究）を開始します。本研究は、当SCの立地や館内施設、開催されるコンテンツが地域住民の健康やコミュニティへ及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。

産学3者が協力し合うことで、地域の方々の健康的な生活や、持続的なコミュニティ形成の一助となり、地域におけるさまざまな社会課題解決に貢献してまいります。

※1 「OPERA」：科学技術振興機構（JST）による産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム事業

※2 参考：2018年9月25日発表ニュースリリース

<https://www.chiba-u.ac.jp/general/publicity/press/files/2018/20180925OPERA.pdf>

記

1. 研究代表者 千葉大学予防医学センター 准教授 花里 真道
2. 研究実施期間 2020年11月～2022年3月31日（予定）
3. 研究対象エリア イオンタウンふじみ野および周辺地域

【本研究に関する資料】

https://hpd.cpms.chiba-u.jp/waco_commerce/

以上

本取り組みは、2030年までに取り組むべき地球規模の17の目標“SDGs”の以下項目に該当します。



【本件に関するお問い合わせ先】

イオンタウン株式会社 戦略部 広報担当 Tel：043-212-6307